

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	簿記 I		（ NGB12S ）
講義名（コード）	簿記 I		（ NGB12SX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター(株)、東京精電(株)歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	企業の取引を一定のルールにしたがって記録・計算・整理し報告書を作成する複式簿記のシステムを学び日商簿記初級レベルの知識を身につける
全体の内容と概要	検定試験を目標に簿記の基礎知識（科目・書式）を覚えていく 学期末に検定試験受験を目標にする
授業時間外の学修	日常会話では使わない簿記の用語をまず理解できるよう、身近なものに置きかえて覚えていきましょう
履修上の注意事項等	授業はテキストを中心に進めますが模擬試験プログラムで検定対策も行います

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	簿記のしくみと必要性を理解する	簿記の意味と目的 簿記の用語と勘定科目 資産・負債・資本・収益・費用の意味
2	貸借対照表・貸借対照表等式について理解する	貸借対照表とは何か・貸借対照表の計算
3	損益計算書・損益計算書等式について理解する	損益計算書とは何か・損益計算書の計算
4	仕訳の方法・意味を理解し勘定記入ができる	貸借対照表と損益計算書の関係 取引と勘定記入について 仕訳について
5	転記の方法・意味を理解し記入できる	転記について
6	仕訳と転記の問題が解ける	仕訳と転記（練習問題）
7	試算表の意味を理解し合計試算表の作成する	合計試算表とは何か
8	試算表の意味を理解し残高試算表の作成	残高試算表とは何か
9	試算表の意味を理解し合計残高試算表の作成	合計残高試算表とは何か
10	すべての試算表が作成できる	試算表作成（練習問題）
11	復習	テスト前練習（仕訳→転記→合計試算表・残高試算表）
12	復習	テスト前練習（仕訳→転記→合計残高試算表）
13	復習	テスト前練習（仕訳→転記→試算表）
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	土日で合格する日商簿記初級
参考文献・資料等	各問題集より練習問題
備考	担当教員はパソコンスキル及び簿記の実務経験を活かし、複式簿記のシステムを学ぶ日商簿記初級レベルの知識を授業中に展開する。